

(様式1)

塩商工第264号

平成30年2月22日

高等学校教育課長 様

学番 57 県立塩沢商工高等学校長

オンリーワンスクール新潟未来プロジェクトについて、下記のとおり報告します。

記

塩沢商工高校

【テーマ】 塩沢商工が創造する「南魚沼活性化プロジェクト」

【目標】

本校は魚沼地域の唯一の専門高校であり、商業科、機械システム科、更には機械システム科では建設土木の科目履修が可能などの特性がある。このプロジェクトをとおして、Employability（雇用されうる能力）を養い、専門高校としてキャリア教育の観点から、将来、この地域を支え活躍する人材を育成する。

【取組の概要】

- 建設業をはじめとする地元企業でのインターンシップの拡充を図る。
 - ・ 地元商工会や地域企業と連携を取り、職場実習・インターンシップを拡充し、人材を育成する。
 - ・ 地元建設企業と連携し、企業等から講師を招き、授業では学習することのできない内容を学習し、地域の問題に寄り添った技術者・技能者になるキッカケとし、地域を支え活躍する人材を育成する。
- 地域行事への参加や地元の産業・特産品のPR活動を行う。
 - ・ 地域の商業施設等で販売実習・イベント開催
 - ・ 地元企業と連携し、企業等から講師を招き、地元の産業・特産物等を取りあげ、特産物の良さを再発見し、企画立案からPR・販売実習と一連の活動を行い、地域の情報発信・PRを行う。
 - ・ 学校みどり創出モデル事業等の地域の小学校と連携し、地域活性化につなげる。
 - ・ 地域文化財の研究・PR、地元の産業や生活の活性化、克雪への試みを行う。

【取組の成果】

- ・ インターンシップは2年生全員が3日間取り組んだ。また、建設業はもとより、地域の企業60社からご協力をいただいた。就業体験を実施することで勤労観や職業観を育成するとともに、地域企業の魅力を体験し、各企業における本校への期待を感じることができた。
- ・ 建設土木の現場見学や地元建設企業並びに地元生産者の講演をとおして、建設土木企業の作業内容やその重要性、冬季時における降雪への対応、そして雪の有効利用について理解を深めることができた。
- ・ 地域のイベントである「建設土木フェア」に参加することで、地域貢献の一端を担うことができたとともに、地域が抱える課題を再認識することができた。
- ・ 講義等を通じて、南魚沼地域の観光資源や地元の商業活動の特徴について学習し、再発見するとともに、地元酒造や道の駅で行われている作業を見学することで、具体的な販売活動の様子を確認することができた。

1 地元企業と連携したインターンシップの取組について

「進路希望達成・学力向上対策事業」と連携し、平成 29 年 10 月 11 日（水）～13 日（金）の 3 日間、地元企業へのインターンシップを行った。インターンシップに参加した生徒は 2 年生全員の 124 名、建設土木系企業も含めた 60 社で実施した。

参加した生徒からは、インターンシップに行く前は、「不安で緊張していた」という感想が多かったが、インターンシップを体験した後は、「楽しかった」「充実感を味わった」「進路を考えていく上で参考になった」という感想が多かった。このことから、勤労観や職業観を育成するとともに、地域企業の魅力を体験できた。

【生徒の主な感想】

- ・ 学校と違って、すべての作業（仕事）に重要な責任があることを知りました。ずっと気を張っているのは大変だと思いました。
- ・ 普段、当たり前のようにしていたことは、社会では通用しないこと、勉強がどれだけ必要なのかを改めて感じることができました。私がインターンシップをさせていただいた会社は、地域にすごく密着していて、素敵な会社でした。
- ・ 事務の仕事はすごく大変でした。挨拶の大切さを学びました。
- ・ アルバイトと同じ感覚だと思っていましたが、仕事内容も、お客様の年齢層も、想像していたことと全く違って驚きました。与えられた仕事をこなせるように、メモなどをとって、少しでも会社の力になれるように努力しました。とてもいい体験になりました。



2 現場見学や建設土木系の授業における地域企業連携

(1) 国道 289 号 八十里越現場見学

機械システム科 1 年生による、建設土木の現場見学会を平成 29 年 6 月に行った。現場は、国道 289 号八十里越で新潟・福島県境の通行不能区間の解消を目的とした、三条市塩野淵から福島県南会津郡只見町叶津に至る建設土木作業現場である。トンネルを掘削する作業や作業に使用する建設機械を実際に見学することで、実際の現場を体感し、土木の重要性について理解を深めることができた。また、土木系の科目を選択するための動機付けをすることができた。

【生徒の主な感想】

- ・ 山中で橋を造る大変さが分かりました。土木系科目の履修を考えてみようと思います。
- ・ 暑い中での作業はとても大変ですが、人の役に立つものを造ることは、やりがいのある仕事だと思いました。

(2) 仮設道路設置及び砂防堰堤建設工事における現場体験実習

機械システム科 2 年生建設土木系科目選択者は、平成 29 年 5 月に 4 週にわたって仮設道路の設置に関する実習を行った。全幅 5 m の仮設工事用道路の設置を通じて、図面の見方や測量（測設）、丁張り設置、機械施工、土の性質、施工管理、現場管理について学んだ。

また、平成 29 年 6 月には 4 週にわたり、砂防堰堤建設工事現場にて



見学と体験実習を行った。現場の方のご指導のもと、現場見学や簡易な施工作业を通じて、実践的な職業知識の習得や日頃の学習と現場技術との繋がりを知ることができた。

【生徒の主な感想】

- ・はじめは自分たちだけで仮設置道路を本当に作れるのか不安でした。しかし、講師の先生方から分かりやすく教えていただいたおかげで、思っていたよりも上手くできたので、うれしかったです。ますます興味がわいてきました。
- ・バックホウやローラー、ランマー、プレートを初めて操作したことが、とてもいい経験になりました。これらの重機の操作は想像していたよりも難しかったです。もっと上達したいと思いました。
- ・講師の方から、測量の時にやさしく声をかけてくださったり、手帳の書き方やバックホウの操作を教えていただいたりしているうちに、土木系の学習に自信が持てるようになりました。

(3) 除雪体験及び防災教育

機械システム科3年生土木系選択者は、平成29年4月、魚沼地域の建設業における重要な業務である除雪を体験した。はじめに、土木と地域貢献及び除雪の形態について説明をうけ、その後、除雪機械（除雪グレーダ、除雪ドーザ、ロータリー除雪車）による除雪体験、最後に、除雪業務の実態について説明をうけた。実際の除雪車に触れたことや除雪作業の重要性を知ること、除雪に対する考え方が変化するとともに、これらの仕事への興味・関心と理解をさらに深めた。

また、5月には、災害発生時における地元建設業の役割（応急復旧の担い手）を理解することを目的として、防災教育を行った。はじめに、地元で発生した災害及び災害発生時における地元建設業の活躍について説明があり、次に、事例研究（応急復旧対策工法の検討）にグループで話し合い、各グループから考察した結果を発表し、講師（地元建設業の方）より講評をいただいた。授業をうけた生徒からは、災害復旧のやりがいや建設業は地域の暮らしを復旧し、市民の安全を守る仕事であることを学んだ。

【生徒の主な感想】

- ・今回の実習では貴重な体験をさせてもらいました。実習で習ったことは、将来、土木の仕事に就くならば絶対に必要なことだと思うので、今日やったことを忘れないようにしたいと思います。
- ・貴重な体験ができました。今回のことを将来の進路選択に生かしたいと思います。
- ・今回の防災教育の授業では、自然災害の恐ろしさを改めて理解しました。その反面、土木建設者が、私たちの暮らしをどれだけ支えてくれているのかも理解することができました。
- ・事例研究で、「どのような工法で応急処置を行うのか」を考えるのはとても難しかったですが、みんなと一緒に考え、アイデアを出し合いました。良いアイデアが出て発表し、先生からも良い評価をいただけて、うれしかったです。



(4) 橋梁点検実習

橋梁補修の増大に対応できる技術者を指すため、橋梁点検を通じて橋梁に関する興味・関心を向上させるとともに、知識を増やすことを目的に実施した。橋梁の損傷状況の確認と点検方法の実体験の後、コンクリート橋の点検（国道17号上之入川橋）を実際に体験し、最後に、点検結果の整理及び補修方法について学んだ。

【生徒の主な感想】

- ・ 私たちが安心・安全に暮らせるのも、点検をしてくれている人のおかげだなと今回の実習で感じました。
- ・ ハンマーでコンクリートを叩いて微妙な音の違いで、コンクリートの割れがあることを判断できることはすごいと思いました。
- ・ この実習を通して習ったことを将来、生かしていきたいと思えます。



3 地元の産業・特産品のPR活動の実施

(1) 南魚沼市のPR・情報発信の手法に関する講演

平成29年10月、南魚沼市名物「本気丼」や情報誌「美女旅」を企画・運営している南魚沼市商工観光課 平川様、h design project 代表 吉田様、MISS EARTH 新潟県代表 大塚様から、情報発信の手法や効果的なPR活動について講義をうけた。

この講義を通じて生徒は、南魚沼地域における情報発信の実際や地域の商業活動について理解を一層深めることができた。また、魚沼地域の観光や特産品などの特徴について再発見することができた。これらの内容をもとに、地域の観光資源や特産物を高校生の視点から、如何にPRし、情報発信していくか考えるきっかけとした。

【生徒の主な感想】

- ・ コンセプトに合った情報発信をすることは、すごく大変だと思いました。南魚沼市の良さがもっと広まるためには何ができるか、私も考えてみようと思いました。



(2) 地域行事への参加及び販売活動

平成29年10月、塩沢宿新米の陣が開催され、「つむぎ通り軽トラ市」と「南魚沼グルメライド」が同日開催された。本校生徒もイベント補助として参加し、運営に貢献した。ぬか釜で炊いた南魚沼産の新米コシヒカリを訪れた方々にふるまう手伝いをした。本校生徒は、肉味噌を製造・販売し、午前中に完売するほどの盛況ぶりであった。

また、平成29年11月には、道の駅南魚沼において、「しおざわ秋の収穫祭」（主催：南魚沼市商工観光課）が、塩沢駅通りにおいて、「つむぎ通り 軽トラ市 2017」（主催：つむぎ通り町づくり実行委員会）へ販売実習（仕入販売）を行った。これまで学んできたマーケティングやビジネスマナーなどを活用し、自ら取り組むことで、生徒の資質の伸張を図ることができた。また、地域行事に参加することで、生徒は地域の魅力をさらに深めるとともに、地域の方々との交流を通して、地域と学校の信頼関係をさらに深めることができた。



【生徒の主な感想】

- ・ グルメライドでは、選手の方から「美味しかったです。」などの言葉をいただき、とてもうれしかったです。とても忙しかったです。やりがいのある1日でした。
- ・ 私が頑張ったことは、子供達にキャンディーをアピールすることです。子供に視線を合わせてキャンディーを見せることで、欲しいに繋がると考えました。子供達がたくさん買ってくれて、とてもうれしかったです。

(3) 販売・接客に対応したビジネスマナー講習

平成 29 年 7 月、新潟会計ビジネス専門学校副校長 平 様より、ビジネスマナー講習の講義をうけた。「販売・接客の対応」や「顧客からの質問に対する受け答え」、さらに、「クレーム対応」について講義をしていただいた後、最後に、「働くこと」についてお話をいただいた。

【生徒の主な感想】

- ・ 接客用語は顧客としてお店に行った時に聞くことはありますが、発する機会はなかなかないので勉強になりました。姿勢も自分で意識して良くする機会はなかったので、方法を知ることができたのでよかったです。



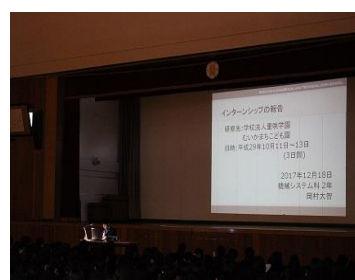
4 生徒発表会

平成 29 年 12 月 18 日 (月)、これまで取り組んできた学習活動等の成果を発表する場として、生徒による成果発表会を下記の内容で行った。また、講評を本校学校評議員の中島様よりいただいた。

<内容>

- ① インターンシップの取り組み発表
- ② 機械システム科の取り組みについて (概要説明)
- ③ 機械システム科生徒による取り組み発表
- ④ 商業科の取り組みについて (概要説明)
- ⑤ 商業科生徒による取り組み発表
- ⑥ 講評

当日は、「学校評議員」及びインターンシップ等で生徒をご指導いただいた「地域の企業」、本校の工業教育・商業教育充実のため組織している「企業・地域社会と学校のネットワーク協議会」、そして保護者からもご出席いただき、発表会を参観いただいた。参観した企業の方からは、「これまで、塩沢商工高校ことがよく分からなかったが、今日の発表会でよく理解できた。すばらしい取り組みであった。」と概ね好評であった。今後も、開かれた学校づくりに取り組み、情報発信に努めたい。



5 総合所見

これまでの取り組みの成果もあり、実施した全ての取り組みにおいて、地域の企業と連携して実施することができた。地元企業から本校に対する期待が大きく、本校の生徒の育成のためにご尽力いただいたことに感謝したい。本校には、この南魚沼地域を支える人材の育成が地域から期待されていることから、今後も、より地域に密接した教育活動を行っていく必要がある。

本事業の最終年度にあたり、この取組により、生徒の意識がどのように変化したか把握するため、全生徒に対してアンケート調査を行った。結果は以下のとおりである。

[基準]

5・・・よくあてはまる 4・・・ややあてはまる 3・・・わからない、どちらともいえない
2・・・あまりあてはまらない 1・・・全くあてはまらない

質問1 本校が、オンリーワン新潟未来プロジェクトに取り組んでいることを知っている。

5	4	3	2	1
18.2%	13.5%	22.2%	12.1%	34.0%

質問2 インターンシップの経験を通して、働くことについて理解を深めることができた。

5	4	3	2	1
28.2%	33.8%	23.3%	6.3%	8.4%

質問3 企業講話や企業見学、現場体験を通して、地元に対する理解が深まった。

5	4	3	2	1
21.9%	36.9%	28.0%	6.3%	6.9%

質問4 地域の方と一緒に取り組むことで、いろいろなことを学んだり、経験することができた。

5	4	3	2	1
21.4%	36.0%	31.8%	4.8%	6.0%

質問5 地元と連携して取り組むことは、これからの学校にとって大切なことだ。

5	4	3	2	1
33.4%	32.6%	26.5%	2.9%	4.6%

質問6 この取組を通して、魚沼地域への理解が深まった。

5	4	3	2	1
19.3%	32.2%	35.5%	6.5%	6.5%

質問7 この取組で授業を受ける意欲が増した。

5	4	3	2	1
15.0%	26.5%	41.8%	7.8%	8.9%

質問8 この取組で学んだことや経験したことを生かし、将来、魚沼地域で活躍し貢献したいと思う。

5	4	3	2	1
19.0%	29.1%	37.2%	6.1%	8.6%